

# oZORA

平成18年度テーマ

## メンタリングマネジメント

### 「見本」「信頼」「支援」

時代に挑み、次代を創る。

T.S.C

鳥取県東部中小企業青年中央会

- ◆発行人 勝原 章(平成17年度・会長)
- ◆編集責任者 井上 法雄(総務実行委員会委員長)
- ◆編集委員会 総務実行委員会

URL : [www.tsc21.gr.jp](http://www.tsc21.gr.jp) E-mail : [tsc@tsc21.gr.jp](mailto:tsc@tsc21.gr.jp)

綱領

- 一、われわれは自己の研鑽につとめ、英知を養う。
- 一、われわれは社会に奉仕し、お互いの友愛を深める。
- 一、われわれは団結して中小企業の発展を図る。



平成17年度、会長という重役を勤めさせていただきましたが役員、会員の皆様、さらに鳥取県中小企業団体中央会、OB、関係各位の皆様の多くの方々にご支援を頂き、大変お世話になり誠にありがとうございました。

昨年のテーマは「感動」、サブテーマ「独自価値を高めよう」として一年間活動をしてきました。委員会活動ではビジネスの創出、本業強化、第二創業、会のコーディネート、メンタリング、上場企業を目指すなど様々なビジネスに関わる勉強を行いました。またイベントは、年間テーマに沿って「夏の思い出～感動の創造へ」「花咲く感動」「感動のクリスマス」「感動の卒業式」などを掲げ、人を感動させる難しさ喜び、そして大切さを学ぶことが出来たと思います。青年中央会の設立目的である若手経営者、後継者の育成、中小企業の発展を念頭に置き、鳥取県の青年経済団体として今まで以上に独自価値のある団体、優秀な経営者を育成する団体を目指して、少しでも前進するように皆で力を合わせ頑張ってきました。

そしてこの7月、平成18年度の井上会長へバトンを渡しました。井上会長のテーマは「メンタリングマネジメント」です。会員一人ひとりの無限の可能性を引き出す。東部青年中央会が自分の人生まで変えてしまう。会員相互が支援者になり、相互成長、相互研鑽を行いたいと井上会長のビジョンを聞きました。当会の会員は一人ひとりが異なった会社の経営者でありリーダーです。それぞれが異なった夢を持ち、また悩みを持ち、辛いこと楽しいことなど、組織や業種が違ってても共有できることは沢山あると思います。100名近い会員さらにはそこから広がる無限の人脈のネットワークで支援し合い、人と人の関係を深めていくことはとても価値があり中小企業の発展さらには鳥取県東部の地域の活性化につながる素晴らしいテーマだと確信しています。そして東部青年中央会が、たくさんある青年経済団体の中でも、もっとも時代に合う活動内容を目指し、他団体にはない独自の価値のある団体に進化していくものと期待しております。

一昨年30周年でキャッチフレーズ「時代に挑み、次代を創る。」を作りました。時代を見据えて、挑戦、創造を繰り返し、さらには一歩先を見つめ歩いていく当会の姿です。平成18年度はこのキャッチフレーズの通り、失敗を恐れず挑戦して一歩先を歩む素晴らしい一年間になるよう頑張りたいと思います。私事ですが卒業が近づいてきましたので、井上会長のテーマに沿って活動し、生涯にわたって信頼しあえる仲間を一人でも多く作れるように努力したいと思います。そしてできる限り井上会長を盛り上げていきたいと思っておりますので、今年度も引き続き皆様のご協力を何卒宜しくお願い申し上げます。



平成18年度(第32年度)は、会発足30年度を節目として、新しい40年度へ向けての地道な歩み始める実質的な年度のはじまりであると考えます。40年に向けて会としてのあるべき姿とは、を考え、そして次世代の会員の進むべき道導をつけていき、会内部の新しい組織固めの為の最初の年度でもあります。それは、会がステップアップする為の、変革、イノベーションの機会を的確に捉える為の会の器づくりでもあります。

アルビントフラーの考察する「第三の波」その変革がもたらす社会が情報化社会です。情報の氾濫の中でどう情報を整理し活用するのか、を問いかけてみてください。今まで(第一の波)の農耕社会では必要なものを生み出すために道具が使われました。産業革命(第二の波)以後の産業社会では機械の登場です。やはり、機械も必要なものを生み出すために人の手により創られました。

しかし、情報化社会では、手法はもちろん人間が考えましたがそこを流れる情報は、コミュニケーション手段の革命において、大きな社会矛盾をその前触れなしに露呈させました。つまり、人は情報を制御できませんでした。すでに迫っている第四の波では、人の変革が迫られていると考えます。(私は人の自立こそがそこを解く鍵ではないかと考えます)そして、そこですでにその主導権は人の手から移りつつあるのかもしれない。

バブルの崩壊以降、企業の経営の根本的な見直しがあり、経営手法、結果、利益ばかりが重要視され、収益を上げるためにもあり、姉齒事件、ライブドア、村上ファンドしかり、利潤を得る為のテクニックが崇拜され、勝てば(もうければ)官軍的な企業が発展しました。今後は、企業経営においても、もう一度原点に帰り企業の持つ本質的な価値が求められる時代がやってくると考えます。

『目的の為に人があるのではなく、人の為に目的があると考え』

もう一度人という原点に帰り、『メンタリングマネジメント』相互支援を平成18年度基本方針として企業経営者としてのあるべき姿をもう一度考えたいと思います。

平成18年度、成長し続けることのできる組織。それを目指して皆様方のご支援よろしくお願いいたします。



平野 裕章氏

(有)一高土木



瀧本 浩志氏

(株)ムーブ



高橋 勝美氏

エクセル21



櫻井 幸浩氏

医療法人明穂整形外科



山根 徹也氏

(株)鳥取銀行



安本 彰規氏

ヤスギ保険事務所

6月卒業例会



浜田 泰彦氏

田澤産業(株)



木下 貴啓氏

(株)アサヒメッキ



木下 修司氏

(有)メガネフレンドキノ



麻生 聖史氏

三井生命保険(株)



松井 正興氏

(有)トータルリンクゆめや

## 6月卒業例会を終えて



ドリームアクト委員会 委員長

千馬 高広

平成18年6月15日、ホテルニューオータニ鳥取「鶴の間」にて17年度卒業例会を開催いたしました。『感動』というキーワードのもと、勝原会長の強い思いを受けて、ドリームアクト委員会のメンバーはサプライズを企画、11人という多人数でしかも中央会の顔とも言える今年度の卒業生の「思い出」となってくれたらと、準備いたしました。

企画段階では、果たしてどのようなものが良いのか悩みましたが、最終的には「フラッシュ」というものを使い、今までのいろいろな中央会での思い出をフラッシュバックしてもらおうと考えました。写真等、委員長ほか皆さんにはご無理をいって探していただきありがとうございました。

ドリームアクト委員会担当例会として、自分が言うのもなんですが、「大成功」であったかなと思います。このように勝原会長年度を無事『感動』で締めることができ、これもドリームアクト委員会の皆さん、そして現会員皆様のご協力によるものと感謝しております。本当にありがとうございました。

ごくろうさまでした



卒業おめでとうございます。

副会長

谷口昌弘

らしさ委員会



今年度は過去2回の副会長経験を生かし、井上会長を補佐して魅力ある素敵な青年中央会を創り上げるために幅広く、コミュニケーションを活発にしていこうと思います。会のベースですC Iが今年度は「・・・らしさ委員会」として活動をおこないます。

この委員会を担当させていただきます。青年中央会らしさを見つけ確立させ、中期・長期のビジョンを提案して、より鮮明な活動ができるように将来に貢献していきたいです。東部の提案が県青年中央会の未来に影響を及ぼすくらいに一步先を考え一步先を行動する！

また青年中央会内での人材育成に勤め、自分が会内で経験してきた事柄を伝えていき32年の歴史ある会の重みを感じていただけるように「見本」になって行動する。

こんな1年にしたいです。

副会長

平井義一

メンタリング委員会



三役、1年生の平井です。平成14年度入会して4年目にして副会長就任、あまりにもスムーズ過ぎて私の人生において経験の無い出来事である。入会時、自分にとって青年中央会の存在は非常にでかく、雲の上の存在でした。1番の目標は45歳まで完走する事、どんなでかい組織に入っても自分らしくつらぬく事、でした。多少つらぬき過ぎた観もありますが・・・その自分らしさを出し切る事により相手も自分をさらけ出してくれる。さらけ出す事により若干のトラブルはありますが、その点は男の子同士ケンカして生まれてくるもの多し!この持論を持ち味に今日までがんばってまいりました。今年度から副会長という事で、井上会長を支えていくと同時に会員みんなにあの人でもできるんだ、がんばっているんだ、そういう勇気を与えられる?存在になれたらと思います。

また、30周年を過ぎて青年中央会の対外的なポジションも高まっていっておりその牽引役の1人として尽力できたらと思います。皆様のご協力よろしくお願いたします。

## 『メンタリングマネジメント』

「見本」「信頼」「支援」

## 新役員の抱負

副会長

牧浦康寛

総務情報委員会



昨年に引き続きまして副会長をさせていただくこととなりました。平成17年度勝原会長のもと、副会長という立場でいろいろなことを学ぶことができました。2年目となる平成18年度は井上新会長のもとで昨年の経験を活かした青年中央会活動をしていきたいと考えております。今年度のテーマは「メンタリングマネジメント」です。まず、私自身が「青年中央会」において、また、「会社」や「家庭」においても、「見本・信頼・支援」を実践し、メンターとして行動していきたいと思っています。

会員みなさんが経営者・後継者・リーダーとして自社にフィードバックできるような活動になるよう微力ではありますが、会を支えていきたいと考えております。

みなさま1年間よろしくお願いたします。

副会長

西根伸吾

コラボレート委員会



皆さんこんばんわ!昨年度に続き2度目の副会長を任命され身の引き締まる思いで頑張りたいと思います。担当委員会はコラボレート委員会と経営戦略委員会なので東部青年中央会のC I事業のなかでビジネスに特化した部分と、対外的にアピールしていく部分という大切なセクションだと思っておりますので委員長・副委員長をサポートしつつ東部青年中央会全体の事も盛り上げていきたいと思っております。

私も青年中央会9年目になりますので皆さんを引っ張りつつ、皆さんのボトムアップもしていきたいと思っております。その中でも私がかもっとも大切にしていきたいのが『男気』だと思っております。男が男に惚れあえるような人間関係を皆が作っていき経営者の論理的な勉強もやりつつ『人』としての魅力を皆が持っている様な会にしていきたいと思っております。まだまだ若輩者ではございますが皆さんと一緒に楽しく!為になる!青年中央会にしていきたいと思っておりますのでご協力よろしくお願致します。

このたび、TSCの役員『らしさ委員会』の委員長になりました山本宏幸でございます。このような大役を仰せつかるには、まことに微力でございますが、役員各位ならびに会員の皆様のご助言、ご協力をあおぎ、TSC・委員会活動に邁進してゆく決意でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、CI活動も4年目を迎え、このCI事業によって我々が目指す方向性がはっきりしています。今年度は35周年に向けて委員会内で昨年スケジューリングされた『TSCの4つの挑戦』の今年度実施事項と中長期ビジョンを見据えて各項目ごとに一つずつ実行内容を絞り込み、準備(スケジューリング)を行いTSCらしさの確立を目指す足場作りとする一年とし、次年度以降のより実行に向けた提案を策定していきます。

また、同時に力不足・経験不足は十分承知していますが、何かのかたちで山本カラーが出せればと思っております。

新  
委  
員  
長  
の  
抱  
負

総務情報委員会

委員長 常田孝一郎 副委員長 橋本 政彦 副委員長 松岡 秀樹

今年度、総務情報委員会の委員長を務めさせていただきます常田です。総務情報委員会は活動テーマを「鳥取県東部青年中央会のメンターとして活動しよう。」とし、東部青年中央会の活動を縁の下でサポートする実務的、専門的な内容になります。ホームページ、デスクネットの管理、各種データ管理、フォーマット作成、広報活動、会報等の発行、事務局業務等が活動の軸になります。各内容を整理し、効率化をはかり次年度以降の総務・情報委員会につなげ、会の活動を自社へフィードバックする使命をもって1年間活動します。また、委員会活動が実務的ではありませんが、その中から委員会内の横のつながりを深め、輪を広げていきたいと思っております。会の運営が1年間スムーズに行えるよう、そして次年度以降につなげるようがんばりますので、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

メンタリング委員会

委員長 西尾 俊一 副委員長 安養寺 務

本年度、メンタリング委員会の委員長をさせて頂くことになりました西尾です。  
当委員会では『自立型人材育成』をテーマに“自分が変わらなければ人は変わらない”をサブテーマに、メンタリングの姿勢を学んでいこうと思っております。  
一人一人が自立しお互いの夢や目標や悩みを共有することで深い絆ができるのではないのでしょうか。まずは、明るく、楽しく、活発に、そして常に前向きに1年間やっていきたいと思っております。委員会の皆さん、会員の皆さんご協力よろしくお願いたします。

コラボレート委員会

委員長 鶴巻 順 副委員長 林 正太郎

コラボレート委員会の委員長を務めさせて頂く事になり、昨年よりも更に気の引き締まる思いでございます。委員会名の由来は、共同作業・協働の意味を持つ「コラボレーション」から、さらに活動的に気持ちを込めて、動詞の「コラボレート」という言葉を用いました。井上新会長の「もっと外部団体と関わり合いを持つ」との思いの中、積極的に外部からの情報を収集し、それを会員に報告。更には、青年中央会での活動内容・存在意義を社会全体に積極的にPRできればと思っております。何分、活動内容が今までに無い新規のものであり、広範囲でありますので、委員会メンバーの方々にはご負担をかけるかもしれませんが、S51年生まれの若い正副委員長コンビで元気を出し、先頭に立って調査・研究を行い、楽しく充実した委員会となる様、がんばりたいと思っております。今後とも井上新会長をはじめ、会員の皆様のご指導を賜ります様、よろしくお願申し上げます。

経営戦略委員会

委員長 星 宗治 副委員長 安東 稔

皆さんこんばんわ。経営戦略委員会の星です。この度委員長をすることになりまして、これからの一年間を非常にワクワクしております。さて私たち経営戦略委員会では、TSC 4つの挑戦にある、「ビジネスに特化した会を創る」を担う委員会でありまして。井上会長より、「ビジネスに特化した勉強をして下さい」と宿題を投げかけられましたが、ビジネス通の多い青年中央会の中で果たしてどんな事が出来るのかと考えました。その中で私が考えたテーマが「ベストプラクティスを見つけよう!!」でした。まずベストプラクティスとは業態の中の最高水準という意味なのですが、自分達の業種のNO1企業を目標に決めて、自社とどの部分が違い、どの様にしたらそこに辿り着けるのかを考え勉強し実践します。そして来年の6月には会員企業が何か一つでも日本のベストプラクティスになれば最高です。今年一年いろいろとお世話になるかとは思いますが、頑張りますので宜しくお願いします。

平成18年度 役員会・例会・三役会/日程(予定)

| 平成18年 | 役員会<br>ホテルモナーク鳥取 | 例会<br>ホテルニューオータニ鳥取             | 三役会<br>対翠閣 | 平成19年 | 役員会<br>ホテルモナーク鳥取 | 例会<br>ホテルニューオータニ鳥取          | 三役会<br>対翠閣        |
|-------|------------------|--------------------------------|------------|-------|------------------|-----------------------------|-------------------|
|       | 7月6日(木)<br>新旧役員会 | 18日(火)<br>新例会                  | 27日(木)     |       | 1月4日(木)          | 18日(木)<br>新年例会・鶴の間          | 25日(木)            |
|       | 8月3日(木)          | 19(土)・20日(日)<br>親子ふれあい鳥取砂丘子ども園 | 31日(木)     |       | 2月1日(木)          | 15日(木)                      | 22日(木)            |
|       | 9月7日(木)          | 19日(火)                         | 28日(水)     |       | 3月1日(木)          | 15日(木)                      | 29日(木)            |
|       | 10月5日(木)         | 19日(木)                         | 26日(木)     |       | 4月5日(木)          | 22日(日)<br>アフォーエスティブル・花嫁リゾート | 26日(木)            |
|       | 11月2日(木)         | 16日(木)                         | 30日(木)     |       | 5月7日(月)          | 17日(木)                      | 31日(木)            |
|       | 12月7日(木)         | 21日(木)                         | 28日(木)     |       | 6月7日(木)          | 21日(木)<br>卒業例会              | 28日(木)<br>新旧三・四役会 |

編集後記

皆さんの御協力のお陰で1年間無事に発刊することができました。ありがとうございました。  
編集委員会 小西和明  
おおぞらの紙面で皆さんにいろんなことを伝えられるように総務情報委員会一丸でがんばります。宜しくお願いします。  
総務情報委員会 常田孝一郎